

市政を問う

一般質問



6月定例会における市政に関する一般質問は、6月18日から20日に行われ、9人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は8月20日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)

昨年度は50名の参加があり、各年齢層から満遍なく参加がありました。

問 昨年度の参加者の傾向について伺います。

参加者に偏りが出た場合、実行委員会と協議し、追加発送を検討します。

問 無作為抽出で募集した後の参加者に偏りが出た場合の対応について伺います。

実行委員会の協議により、市民の中から無作為で抽出し、案内の送付を行いました。

問 現状の参加者募集に関する広報の方法について伺います。

市民討議会のこれからの在り方

田中高久
(創造みらい半田)



問 様々な背景を持つ方が参加できるような広報の手法が必要だと考えますが、見解を伺います。

特定の対象者に対する広報については検討していませんが、託児や手話通訳など配慮が必要な方が参加しやすい環境整備は整えています。

問 市民討議会の効果と成果について、また市民の意見を受け止めることに力をいれていく方向について見解を伺います。

提言した内容が事業化に繋がったことや、昨年度の参加をきっかけに別の事業に参加するなど、当初の想定以上の結果が得られました。また、現時点では運用の見直しは検討していません。



麻生七海
(公明党)



公共施設等における補聴環境の整備による難聴者への支援

問 携帯型磁気ループシステムの貸し出しを提案しますが見解を伺います。

障がいのある方への支援として、手話通訳や要約筆記者の派遣を行っています。磁気ループシステムの貸し出しにつきましては、現時点で導入する考えはありません。

問 難聴者への対応として、軟骨伝導イヤホンを市役所の窓口を設置するよう提案しますが見解を伺います。

現在、窓口では筆談等にてその方の状態に寄り添った対応をしています。軟骨伝導イヤホンの導入につきましては、導入効果の検証

や耳に直接触れる機器を利用者間で共用することに対する心理面も考慮に入れながら、導入自治体での利用実態を調査したうえで判断していきます。

問 65歳以上の高齢者で難聴を有する方に対する軟骨伝導イヤホン購入費助成制度の創設を提案しますが見解を伺います。

全国市長会からは加齢性難聴等の軽・中等度難聴者の補聴器購入に対する補助制度の創設、難聴と認知機能低下との関連性の究明を国に提言しているところであります。現時点では制度を創設する考えはありませんが、今後とも国等の動向を注視していきます。

